

# 園 部 哲 史 教 授

---

役 職：副学長、博士課程委員会委員長、GRIPS Global Governance Program ディレクター

専門分野：開発経済学

学 位：Ph.D. (Yale 大学)

略 歴：1960 年東京生まれ。東京大学経済学部卒。Yale 大学経済学研究科卒、Ph.D.取得。東京都立大学経済学部教授、国際開発高等教育機構 (FASID) 主任研究員、政策研究大学院大学連携教授を経て、2012 年より政策研究大学院大学教授。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 図 書 (共 著)

- \* Tetsushi Sonobe and Keijiro Otsuka. *Cluster-Based Industrial Development: KAIZEN Management for MSE Growth in Developing Countries*, New York: Palgrave Macmillan, 2014. (総ページ数 264 ページ)
- \* 園部哲史「産業発展 ―日本の顔の見える戦略的支援―」、大塚啓二郎・黒崎卓編著『これからの日本の国際協力：ビッグ・ドナーからスマート・ドナーへ』日本評論社、2015 年。

### (2) 雑誌論文 (共 著)

- \* (査読付き) Aya Suzuki, Vu Hoang Nam, and Tetsushi Sonobe, “Willingness to Pay for Managerial Training: A Case from the Knitwear Industry in Northern Vietnam.” *Journal of Comparative Economics*, 42 (3), pp.693–707, August 2014.
- \* (査読付き) Yukichi Mano, John Akoten, Yutaka Yoshino, and Tetsushi Sonobe, “Teaching KAIZEN to Small Business Owners: An Experiment in a Metalworking Cluster in Nairobi.” *Journal of the Japanese and International Economies*, 33 (1), pp. 25-42, September 2014.
- \* (査読付き) 樋口裕城・園部哲史「経営者の子どもの教育と職業選択に関する一考察 ―ハノイ近郊の産業集積地における中小企業の事例より―」『アジア経済』第 56 巻第 1 号、2015 年、34–53.

### (3) 学会発表

- \* 発表者名 Sonobe Tetsushi. 発表標題 “Management Training as a Driver of Non-farm Economic Development.” 学会名 Asian Society of Agricultural Economists Conference. 発表年月日 October 15, 2014–October 17, 2014. 発表場所 BRAC Centre, Dhaka, Bangladesh.
- \* 発表者名 Sonobe Tetsushi. 発表標題 “Cluster-Based Industrial Development: KAIZEN Management for MSC Growth.” 学会名 30th Annual General Meeting and Conference of the Pakistan Society of Development Economists. 発表年月日 October 15, 2014–October 17, 2014. 発表場所 Pak China Centre, Islamabad, Pakistan.

## 2. 助成金等による研究

- \* 平成 26 年度科学研究費補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型)) 「新興国におけるインフラ建設、土地制度改革と教育改革の政治経済学的ミクロ実証研究」研究代表者
- \* 平成 26 年度科学研究費補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型)) 「新興国の政治と経済発展の相互パターンの解明」領域代表者
- \* 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B) 「エチオピアにおける経営知識普及の経

済分析」研究代表者

- \* 外務省 高度開発人材育成事業（受託研究）研究代表者

### 3. 教育

#### (1) 講義

- \* Trade and Industrial Development (Spring Term)
- \* Advanced Microeconomics IV (Spring Term: Session II)
- \* Theoretical Foundation of Economic Policy (Fall Term)
- \* Policy Debate Seminar I (Winter Term)

#### (2) 論文指導

- \* Policy Analysis Program：博士課程 7 名（主指導 5 名・副指導 2 名、うち 3 名学位取得）
- \* 公共政策プログラム：博士課程 1 名（副指導 1 名）
- \* 国家建設と経済発展プログラム：博士課程 3 名（主指導 2 名・副指導 1 名）

### 4. 管理・運営への関与

#### (1) 委員会

- \* リーディング運営委員会（GRIPS Global Governance Program Committee）
- \* グローバルリーダー育成センター運営委員会
- \* 学術機関リポジトリ委員会
- \* 博士課程委員会
- \* 奨学金等委員会
- \* 研究教育評議会
- \* 教員人事委員会
- \* 役員会
- \* 経営協議会
- \* 学長選考会議
- \* Policy Analysis Program Committee
- \* 国家建設と経済発展プログラム・コミティー
- \* One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Committee
- \* Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) Committee
- \* プログラム推進費予算配分検討委員会
- \* 研修企画委員会

#### (2) タスクフォース

- \* リーディング大学院タスクフォース
- \* プログラム改革推進本部
- \* International Advisory Committee (IAC)
  - 国内プログラム改革
  - ランゲージセンター設立関係
  - コンソーシアム発展関係
- \* 第 3 期中期目標・計画検討ワーキンググループ

#### (3) その他

- \* 企画懇談会
- \* 修士課程委員会

- \* ホーチミン国家政治行政学院（NAPA）（公共政策大学院プログラム策定支援）

## 5. 社会的貢献（A）

- （1） 財団法人等における活動
  - ① その他
    - \* 独立行政法人国際協力機構（JICA）プロジェクト・アドバイザー（アフリカ地域における品質・生産性向上プロジェクトにかかるアドバイザー）
- （2） その他
  - \* 日本学術会議連携会員